PRESS RELEASE

2026年7月1日
サンデン株式会社

調達戦略を転換、共創モデル導入でコスト構造改革を推進
― 価格交渉依存から脱却、中国での先行導入を起点にグローバル展開へ ―

中国におけるコアサプライヤーカンファレンスの様子

サンデン株式会社（本社：群馬県伊勢崎市、以下、当社）は、中国において主要な共創パートナー（サプライヤー）16 社を招いた「中国コアパートナーカンファレンス」を開催し、従来の価格交渉に依存した調達から、パートナーとの共創による新たな調達モデルへ転換しました。

本モデルは、設計初期段階からパートナーが参画し、サプライチェーン全体でコスト低減と付加価値向上の両立を目指します。

● 背景

自動車業界では、電動化の進展や車両の高性能化に加え、原材料価格の高騰や地政学的リスクの影響により、サプライチェーン全体の最適化と収益構造の強化が重要な経営課題となっています。

このような環境下において、従来の価格交渉に依存した調達手法では継続的なコスト改善に限界があり、設計・調達・生産を横断した一体的な取り組みへの転換が求められています。

● 共創モデルの導入

当社は、パートナーとの共創体制のもと、設計初期段階からの参画、VE／VA 活動の共同推進、部品仕様見直し・生産性向上・物流合理化を一体で推進しています。本取り組みは、日本・欧州・中国の各拠点において一部領域で先行適用しており、本年中に複数領域でコスト改善効果を確認しています。

これらの取り組みは、単年度のコスト低減にとどまらず、

・設計段階からの原価低減余地の拡大

・継続的な改善活動を前提とした収益構造への転換

に寄与するものであり、収益改善に向けた方向性を具体化する施策として位置付けています。

なお、現時点での成果は先行適用によるものであり、対象領域およびパートナーの拡大を通じて、さらなる改善効果の創出を目指します。これらの成果および有効性を踏まえ、本モデルの展開を段階的に進めていきます。

● 戦略的パートナーシップ

また、優良パートナー3 社と戦略的パートナー契約を締結しました。

これにより、コスト改善に加えて、品質向上や供給安定化を含む中長期的な価値創出を可能とする体制の構築を進めています。

● 競争力の強化

本モデルでは、原材料価格変動などの外部環境に対し、パートナーとリスクを分担しながら、仕様や調達条件を柔軟に見直す枠組みを導入しています。

これにより、市場環境変化への対応力向上を図り、収益変動リスクの低減と、より安定的な事業運営を支える基盤構築を進めています。

● 今後の展開

本取り組みは、中国での先行適用により有効性を確認しており、今後は他地域への展開を進め、グローバルでの標準モデル化を図ります。

当社は本モデルを中期経営計画における中核施策の一つと位置付け、調達基盤の高度化を通じて、持続的な利益成長と企業価値向上の実現を目指します。

本件に対するお問い合わせ
サンデン株式会社　総務本部　広報･IR 担当
Tel：03-5828-5582　Email：sdhd.prcsr.jp@g-sanden.com　Web：https://www.sanden.co.jp/